

はたらきつづけるを応援する！

精神障害者の“就労定着”研修会

今、はたらく現場では、社員の雇用管理として在職管理はもちろんのこと、障害者雇用の雇用管理、休職支援・復職支援と幅広く社員の“はたらきつづける”を応援していくことが会社に求められています。

そのためには、日々の健康管理と、はたらきながらどんなことに苦しさやつらさを感じているのか、その時、どのような声掛けが有効なのかを理解し職場の環境調整につなげていくことがとても大切です。

はたらきやすい職場環境づくりをどう構築するのか、休職期間をどうサポートするか、復職に向けて社内環境をどう整えていくべきか、この研修会からともに考えませんか。

○今回の研修会では、法政大学 現代福祉学部 眞保智子教授をお招きして、会社として誰しものがはたらきやすい職場をどう作るべきか、多様な人材を活かす取り組み、従業員支援についてお話しいただきます。

○一般社団法人SPIS研究所から、WEB日報システム「SPIS」を用いた精神に障害のある方の就労定着支援についてご紹介します。また、臨床心理士という立場から、有効的なかわり方についてもご紹介します。

○実践報告では、休職者に会社の担当者、外部支援者として復職支援に取り組んだ実際の事例を株式会社テクノイケガミ 取締役 蒲谷幸利から想いを込めて報告します！

【日時】 平成30年2月23日(金曜日) 13時30分～16時45分 13:00開場

【場所】 ビジョンセンター横浜 3F 301会議室(横浜駅) 先着80名

【対象者】 働く障がい者に関心のある方(企業・個人でも参加できます)

メンタルヘルスに関心のある方等

プログラム

基調講演	法政大学 現代福祉学部 教授 眞保智子氏	60分
精神障害者の職場定着支援 システム「SPIS」	一般社団法人SPIS研究所 臨床心理士 宮木孝幸	45分
休職者への 復職支援事例報告	株式会社テクノイケガミ 取締役 蒲谷幸利	45分

若年者就労支援とキャリアデザイン/職業リハビリテーション/障害者雇用/休職者の職場復帰に関する従業員支援プログラムの研究をされています。



共催：特定非営利活動法人かながわ精神障害者就労支援事業所の会
特定非営利活動法人全国精神障害者就労支援事業所連合会(略称：vfoster)

後援：神奈川県 神奈川県労働局 藤沢商工会議所
一般社団法人神奈川県経営者協会 公益社団法人神奈川県労働安全衛生協会

参加費

無料！

参加申込書

FAXでの申し込み先 ⇒ 046-244-4512 (就労継続支援B型 ホープ大和)

Emailでの申し込み先 ⇒ kanajigyoun@yahoo.co.jp まで

PDFファイルをお送りいただくか、ご所属、ご連絡先、お名前をご連絡ください。

お問い合わせ：NPO法人かながわ精神障害者就労支援事業所の会
就労継続支援B型 ホープ大和(電話046-244-4511 担当 吉野)までお願いします。

申し込み締め切りは2月9日 (金)

企業名・ご所属	ご連絡先 (TEL) ※任意	お名前



< 会 場 案 内 >

場所：ビジョンセンター横浜 301会議室

横浜市西区北幸2-5-15プレミア横浜西口ビル3階

Vision Center Yokohama
ビジョンセンター横浜

NPO 法人かながわ精神障害者就労支援事業所の会とは…

神奈川県内の精神障がいを持つ方や精神障がいを持つ方を雇用されている・雇用を検討されている企業等の事業所に対し、研修・能力開発及び啓発活動等に関する事業を行い、雇用促進支援に寄与することを目的とした、特定非営利活動法人です。

当法人は精神障がいを持ちながらも働けるという事を実際に雇用している企業から社会へアピールしていきたいと考えています。



理事長 増田和夫